


ツツジノゲンバウムシの駆除、暑さと日焼けを防ぐ、マリーゴールドのさし芽

2005年8月	葉月(はづき)・桂月(けいげつ)・壮月(そうげつ)・仲秋(ちゅうしゅう)・雁来(がんらい)・秋風月(あきかぜつき)	●炎天がつづく時期
<p>●日本の夏は、熱帯並みの暑さになり、しかも日照時間が長くなるので夜まで暑さが残ります。これが「熱帯夜」です。寝苦しい日が続きます。</p> <p>●強い直射日光、高い気温、それにともなう水分の不足、そのうえ舗装面や壁面の照り返し・・・など植物にとっても酷な時期です。</p>		
庭木の作業	<p>・高温乾燥期にはいるので、植え替えや手入れは行いません。中下旬になると再び害虫の発生が始まるので早めに防除します。</p>	
草花の作業	<p>・草取りと乾燥したときの「水やり」が仕事です</p> <p>・ダリア・サルビア・マリーゴールドなどは、秋の花を立派に咲かせるためには、8月初め頃に株を切り込んで新芽を出させ、追肥をします。</p>	

今月の誕生花	アスター、アマリリス、スイレン	
今月の花	アサガオ	
	花言葉/はかない恋、私はあなたに結びつく	
	切り花にするとすぐにしぼんでしまう朝顔・・・。 贈り物にするときは、鉢植えにリボンをかけて贈るとよいでしょう。	
	<p>原産地はアジアです。ヒルガオ科アサガオ属の1年つる草。ツルの長さは3m以上。開花時期は7月～8月。別名は牽牛子(ケゴシ)。葉の形状は心臓形～円形。花色は青、赤、藍、紫など。英名は、モーニンググローリー(Morning glory)。</p> <p>アサガオは、平安時代に薬草としてヒマラヤ山脈のふもとから中国を経て日本に伝わりました。</p> <p>花言葉の「はかない恋」は、朝咲いて、午後にはしぼんでしまう・・・ところから、つけられたようです。</p> <p>草のツルがしっかり巻きつくことから、「私はあなたに結びつく」という激情的な花言葉も生まれました。</p>	

ツツジノゲンバウムシの駆除

- 暑くて乾燥する時期になると、ツツジの仲間の葉の色が悪くなるのがよくあります。
- よく見ると、葉がカスリ状に薄くなって、葉の裏を返してみると赤茶けた汚らしい斑点がついて、ひと目に病気が害虫のせいだと感じます。これは、ツツジノゲンバウムシが葉の裏に繁殖して、ツツジの樹液を吸い、分泌物を葉の裏に付着させて、木を弱らせているのです。高温と乾燥が続くと、かなり増えるようです。
- 虫自体は、軍配のような形の羽をひろげた3mmほどの小虫ですが、たくさん発生するといくら丈夫なツツジといえどもかなり弱ります。



## ● 駆除の方法



### 第1段階

ホースに 蓮口をつけて 水を細かく勢いよく出して、葉の裏側に 吹付けるようにかけ、虫を 吹き飛ばします。こうすると、湿気をきらって 一時は 少なくなるようです。

しかし、たびたびするのは実にめんどうですから、長続きしません。



### 第2段階

小さい虫で薬剤にも弱いほうなので、薬をかけて 駆除するのがいちばん早いですよ。

**マラソン乳剤、スミチオン乳剤などを水にうすめ、噴霧器で葉の裏にいる虫をめがけてかけます。**

この薬は、虫に直接かかると、効果がないので、そのつもりでかけることです。

完全に駆除することは困難ですし、他所から飛んでくるので定期的に何回もかけて効果を高めましょう。



鉢植えや、小さな木には よい薬剤があります。移行性あるいは 浸透性の殺虫剤で、細かい粒状のものを根元に少量まいておくと、水で溶けて土中にしみ込み、根から水分とともに吸収されて枝葉に移行していきます。

虫が樹液を吸収するとこの中に薬剤がとけているので、たちまち効いて駆除できるのです。薬剤の種類としては、PSP、ダイシストン、エカチン、オルトランなどです。

オルトランなどには 水和剤があるので、これを水に加えて葉面から かけると、葉からも吸収されてきます。

## 暑さと日焼けを防ぐ

熱帯産の観葉植物は、気温の高い夏には たいへん育てやすいので人気があります。



### ● 日焼け

もともと、日陰性の植物や 葉のうすいもの、長らく日陰においていた観葉植物なども、強い日光に長い間あてると、障害がおきて、葉が変色して 弱ってしまいます。

寒冷紗などを 上に張って日よけをしたり、木陰に移したりします。

ものによっては、真昼から 午後の日ざしの強すぎる時間だけ、日よけをします。

日よけは、少し高めに作って、空間をあけるようにしておくと、風通しがよく 日よけの効果が あがります。

## ●水切れ

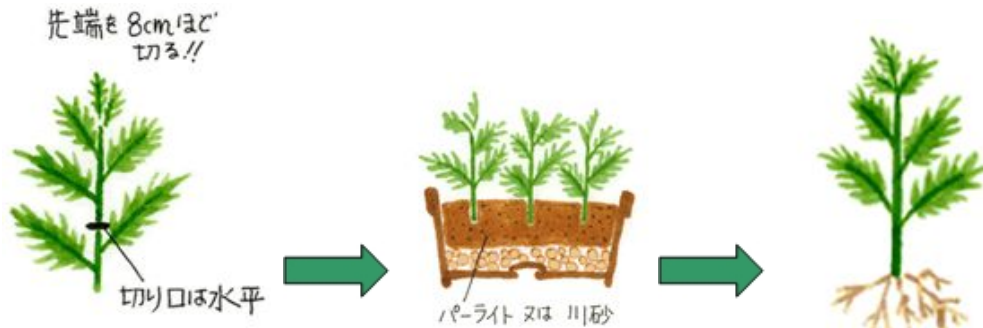
特に、小さな鉢植えはすぐに水切れをおこし、葉がしおれ脱水状態になります。

薄手の鉢に直接日光があたると、根焼けをおこして根も枯れてしまいます。

水切れをみつけたときは、すぐに日陰に移し、バケツの水の中に鉢ごとつけてしまいます。処置がはやければ、2時間ほどで回復します。

## マリーゴールドのさし芽

茎から根がでやすい性質があるので、秋の花壇用やプランター用に今からさし芽をしても十分に合います。



さし木を成功させるには、よいさし枝を取ることが肝心です。元気のよい株の日のよく当たる場所の、春から伸びた若枝を間引きして取ればよいでしょう。

1週間ほどもすると、全部根づいて元気をだします。早速、花壇やプランターに植えます。初めの2~3日はしおれませんが、水を与えているとすぐに根を張って成長をはじめます。